

あなたと
NOSAIをつなぐ
かけはし



P3-7 新年号特集

フレッシュ☆農ライフ
次代につながる農業の魅力

P8-9 園芸施設共済

P10 収入保険

P11 水稻共済

P12-13 わがまちこの人





フレッシュ☆ 農ライフ

次代につながる農業の魅力

新年号特集

新年号では、“農の未来”をワクワクさせてくれるフレッシュな農業者を特集します。地域の風土と向き合い、工夫と挑戦を重ねながら、日々楽しみを見つける若い農業者たちの姿を通して、次代につながる農業の魅力をお伝えします。

次ページへつづく!!

組合員の皆さまにおかれましては、健やかに新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。平素より本組合の事業運営に対しまして、深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。



組合長理事
田中 肇

新年
あけまして
おめでとーございます

度重なる災害からの

復旧への取り組み

昨年は、全国で記録的豪雨や台風被害が相次ぎました。本県においても、8月、金沢市で観測史上1位の雨量を観測し、甚大な被害が発生しました。農地や農業施設が冠水・流出するなど、多くの農業者が大きな影響を受けられました。被害に遭われた皆さまに心よりお見舞い申し上げます。被害とともに、一日も早い復旧と営農再開をお祈り申し上げます。

本組合では、被災された組合員の皆さまの経営再建を支援するため、共済金の迅速かつ的確な支払いに努めています。また、奥能登地域の農業の復旧は、地震と大雨の複合被害により未だ多くの農家が厳しい状況に置かれています。世界農業遺産「能登の里山里海」に代表される地域資源の再生・保全にも力を注ぎ、被災地農業の再興に寄り添った支援を継続してまいります。

地域農業の持続的発展を

力強く支えて

本年も、「安心と信頼のNOSA I石川」を合言葉に、役職員一同が一丸となって、組合員の皆さまの営農と地域農業の持続的発展を力強く支えてまいります。皆さまのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。新年のごあいさついたします。

令和八年元旦



明るく一年に
なりますよう

お祈り申し上げます



組合長理事	田中 肇
副組合長理事	東元 勉
専務理事	南 範彰
理事	大宮 正
理事	河原東洋史
理事	室住 吉隆
理事	酒井 実
理事	新家 成健
理事	池本外季伸
理事	裏 秀和
理事	叶田 明弘
理事	中山 敏康
理事	伊藤 正浩
代表監事	宮下 祐幸
監事	田中 一男
監事	村上 茂
監事	観音 幸助
職員一同	



「収入向上が課題です」と話す澤井さん

中能登町 澤井 智文さん (32歳)

☆営農指導の知識 生かして

「苦労もあるが喜びの方が大きい」と笑うのは、就農3年目の澤井智文さん。中能登町で70坪の畑に、白ネギやカボチャ、キャベツなどを栽培している。前職はJA職員として営農指導を担当し、学んだ知識と経験を生かして専業農家の道へ進んだ。

試行錯誤でつかんだ自信

初年度は白ネギが不作、翌年はカボチャのネズミ被害と苦戦が続いた。それでも秋キャベツの成功で手応えをつかんだ。現在は市場に加え、道の駅の直売所にも出荷。「地元の直売所を大切にし、自分の名前で選

べる野菜を増やしたい」と語る。学校給食への出荷契約をするなど、安定経営を模索中だ。

父と兄は水稲農家で、農機具の貸し借りや作業協力を通じて助け合う。澤井さんは「作物ごと、作期ごとに気付きと学びがある。収量確保にはほ場選びとローテーションが鍵。経営を自立させるため規模拡大を目指したい」と前を向く。



様々な作物に挑戦中

☆主力のナス ハウス栽培に挑戦

穴水町 岡本 孝佳さん (43歳)



傷のないナスが育ち笑顔の岡本さん

穴水町の岡本孝佳さんは、ハウス4棟と露地4坪でナスや春菊、ズッキーニを栽培。農業法人で経験を積み、6年前に就農した。

主力のナス

は水ナス・中長ナス・白ナスの3種を栽培し、毎年新しい品種にも挑戦。ナスのハウス栽培は地域でも珍しく、自らネットワークを広



細かい播種作業も丁寧

能登半島地震では、液化化した農地を自ら重機を使って排水を行い復旧させ、水はけの改良にも取り組んだ。「細かい作業も多く苦労は多いが、育つナスを見るとやる気が湧く」と笑顔を見せる。人気が高まる水ナスを軸に、「穴水をナスの産地にしたい」と意欲を燃やしている。

地震被害から農地復旧



8月から12月まで続くネギの収穫作業

☆祖父から引き継いだ 白ネギ栽培

「経営者として自分の裁量を發揮し、挑戦を続けたい」と語る上島巧也さんは、七尾市中島町で祖父・勝弥さん(89)から白ネギ栽培を引き継いだ若手農業者。能登特産「能登白ねぎ」は、かつて盛んに作られていたが、現在はピーク時の2割ほどに減少。巧也さんは中島干拓地や能登島へは場を広げ、1.3畝のネギと30坪の野菜を栽培し、経営の安定と拡大を目指す。

学びと工夫で進化中!

兵庫県淡路島での農業実習や直売マルシェでの経験を通じて農業の魅力を実感し、24歳で地元に戻って祖父から技術を学んだ。「ネギ栽培の課題は雑草対策」と話し、病害虫を防ぐためカルシウムなどの液肥を活用するなど、工夫を重ねている。

人とながる新しい農業

繁忙期の人手不足には、インターネットのスキマバイトを活用。作業に参加した女性から「作業は楽しい。普段の買い物では

七尾市 上島 巧也さん (34歳)

地元野菜を選ぶようになった」と好評で、地域にも良い循環を生んでいる。

また、災害に備えて収入保険に加入。能登半島地震では能登島の園地の栽培管理が不能となった。「収入保険で補てんされて助かった」と笑顔を見せる。収穫したネギは若手農家グループ「能登新鮮組」を通じて地元スーパーなどで販売。「先輩農家との交流や動画で学び、技術を磨きたい」と意欲を語る巧也さん。家族とともに地域に根ざした「稼げる農業」を目標に挑戦は続く。



スタッフと一緒に調整作業をする巧也さん (左)

〔石川の農業を元気に〕

いしかわ農業総合支援機構

農業の
基礎を学ぶ

いしかわ
耕稼塾

農家として自立するには、確かな技術と経営力の習得が欠かせません。公益財団法人いしかわ農業総合支援機構が運営する「いしかわ耕稼塾」では、就農前の研修から、就農後のサポートまで幅広く提供しています。

学んで、実践
技術と判断力を磨く

先進農家での実践的研修や、栽培技術・経営戦略・加工・販売などの専門研修が受けられます。農業現場で自ら手を動かし経験することを重視し、独立後に必要な技術と判断力を磨く場となっています。農業の楽しさや大切さを体験できるメニューもあり、これから農業を志す人の強い味方です。

●技術習得研修メニュー

石川県で就農を考えている方には予科と本科の2コースがあります。専属講師のもとで栽培技術や知識を学んでみませんか。

【お問い合わせ】

電話：076-225-7621

メール：info@inz.or.jp

☆色で魅せる
多肉の魔法

志賀町 谷内 真弥さん（39歳）



「種から出荷するまでに約2年かかります」と谷内さん

「四季で色が変わるところが魅力」と語る谷内真弥さんは、志賀町矢蔵谷で8棟のハウスに約3万株の多肉植物を育てる。医療職から転身し、志賀町に移住。放置されていたハウスを借り受け修繕して3年前に就農した。中心品種は「エケベリア」で、SNSや富山県の植物園で販売している。

多肉植物は違う色の品種を人工授粉し、種から育てると新しい色合いを生み出せるため、繁殖に力を入れている。「丁寧に管理し思い描いた色になると嬉しい」と笑顔。「個体ごとの味わいを楽しんでほしい」と、日々工夫を重ねている。

人工授粉で新たな色づくり



研修でトマトを管理する齊官さん

小松市 齊官 志織さん（28歳）

☆農家に憧れ
夢を実現

高校・大学と体操競技で活躍し、国体にも出場した小松市吉竹町の齊官志織さん。食べることが大好きで、「農家に憧れ、生産の仕組みに興味があった」と話す。大学卒業後、農業法人に就職した齊官さんは、水稻栽培の管理作業を担当。その後、JA小松市のアグリスクールで研修を受け、大玉トマトの育苗や温度管理の工夫を学び、令和7年6月に就農した。

「管理ひとつで出来が変わるのが面白い」と笑顔。農家間のネットワークづくりにも意欲的だ。「農業に縁のない人にも興味を持ってほしい」と語る。

新たな課題にも意欲的

☆信頼のブランド
“金沢育ち”

金沢市 松中 まつなか 直樹さん（46歳）



収穫最盛期のトマトを手入れする松中さん

金沢市打木地区で、トマトとキュウリを栽培する松中直樹さん。海岸砂丘地に広がる40坪のハウスで施設園芸を営む。高校卒業後すぐに就農。5年前、父の病気を機に経営を引き継いだ。

トマトは真夏の暑さ、キュウリは連日の収穫と体力勝負の作業が続く。家族や親せき、パートの力を借りながら労力をやりくりして、繁忙期を乗り越える。近年は高温による減収リスクも高まり、ハウス天井に遮光シートを設置して気温上昇を抑え、

技と工夫で暑さに挑む

水管理も徹底。さらに高温に強い品種の試験栽培にも取り組むなど、対策を進めている。

収入保険にも加入。一昨年は虫害による減収で保険金を受けとった。「不測の事態にも備えながら、安定した経営を続けたい」と語る松中さん。「金沢育ち」のブランドを守りながら、信頼されるトマトをつくりたい」と力を込めた。



高品質のトマトを生産



にぎりたてのおにぎりを提供する英里さん（右）。休日は夫の達哉さんと一緒に営業する

白山市 寺井 英里さん（41歳）

☆おにぎりで届ける
田んぼの恵み

「丹精込めて育てたお米のおいしさを知ってもらいたい」と語るのは、白山市三浦町の寺井英里さん。自家産コシヒカリを使ったおにぎりを販売するキッチンカー「Fanner」で「さ」を令和6年2月にスタートした。

炊き立てごはんに真心こめて除草剤を使わず有機肥料で育てたコメを、直前に精米してガスで炊く。注文後に一つずつ握り、具材はすべて手作りだ。北海道出身の英里さんらしい「山わさび」や、自家製塩麴を使った「そばろ」「しゃけ」などが人気。女性や子育て世代を中心に

ファンを広げている。

店舗を持たずに自分のペースで出店できるキッチンカーは、子育てとの両立にもぴったり。今後は「だし茶漬け」の商品化にも挑戦し、「自家産米の魅力をもっと伝えたい」と笑顔で話す。



インスタで営業日を告知



キッチンカーで県内のイベントに出店

園芸施設共済は
 通年被覆のハウスも 短期間被覆のハウスも加入できます



雪にも風にも 備えはやっぱり園芸施設共済



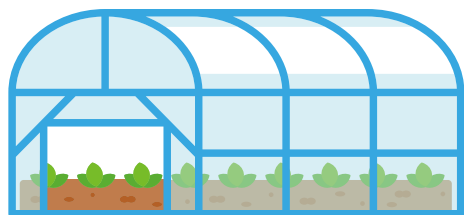
短期間被覆のハウスの場合

補償期間は一年間

被覆期間	未被覆期間
補償は 本体+ビニール	補償は 本体のみ

一年間の掛金のめやす

2か月被覆：1,000円/棟
 補償額：38.9万円



設置面積：5m×40m=200㎡

被覆材種類：厚さ0.1mm
 一般農PO（新品）

本体経過年数：10年経過

○春の強風に注意
 春先は「爆弾低気圧」の急速な発達により台風並みの強風をもたらすことがあります。
 この時期は、水稻の育苗ハウスの被覆時期とも重なるため、ビニールの破れやパイプの破損などに注意が必要です。
 園芸施設共済では、通年被覆のハウスだけでなく、育苗ハウスなど被覆期間が短いハウスも加入できます。被覆期間に限らず、補償期間は一年で、ビニールを被覆していない時期

育苗ハウスの加入もお忘れなく

○春の強風に注意
 春先は「爆弾低気圧」の急速な発達により台風並みの強風をもたらすことがあります。
 この時期は、水稻の育苗ハウスの被覆時期とも重なるため、ビニールの破れやパイプの破損などに注意が必要です。
 園芸施設共済では、通年被覆のハウスだけでなく、育苗ハウスなど被覆期間が短いハウスも加入できます。被覆期間に限らず、補償期間は一年で、ビニールを被覆していない時期

○安い掛金で通年補償

被覆期間が数か月の育苗ハウスなら、通年被覆に比べて安い掛金で加入ができ、年間を通して安心の補償が続きます。

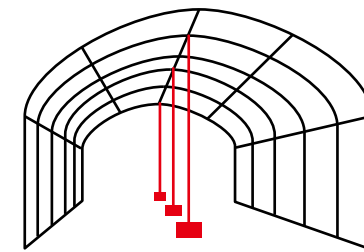
ハウスの設置面積や建築後の経過年数のほか、ビニールを被覆している被覆期間に応じて掛金が算定されます。

雪害防止のためのハウス補強と除雪対策

降雪前に

補強資材の設置 〈中柱の設置ポイント〉

- 3～4m間隔にパイプや角材を設置する。
- 天井部は、T字金具などでハウスのパイプに固定する。
- 中柱下は、ブロックや厚板を敷き、沈み込みを防止する。



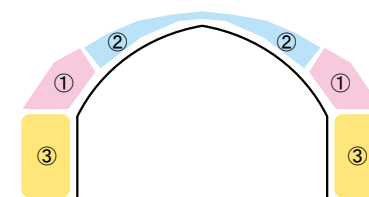
中柱による補強例

真上からの負荷による倒壊防止に有効です。
 積雪の偏り（偏荷重）には弱いので、タイバー（陸っぱり）等の補強を併用するとより効果的です。

積雪後に

こまめな見回りと除雪 〈除雪のポイント〉

- 沈降圧による倒壊を防ぐため肩部以上に堆雪させない。
- 屋根部まで積雪した場合は、雪量が偏らないように両側を均等に除雪する。



屋根まで積雪した場合の除雪順

- ① 肩部を除雪
- ② 屋根の雪を滑り落とす
- ③ 側面を除雪

着雪が多くなる前にこまめに除雪しましょう。

除雪作業は、無理をせず、
安全第一でお願いします。

参考：石川県雪害対策マニュアル
 石川県冬季における農作物管理対策

1月～3月は要警戒

冬から春にかけては、雪や強風によるハウスの被害が多く発生します。ハウスの点検・補強で被害を防ぐと同時に、万が一の損害には園芸施設共済で備えましょう。

風や雪の被害が多発

令和6年度に共済事故が発生した棟数のうち、1月から3月で約6割を占めています。そのうちの9割以上を風や雪による被害が占めています。（図1）
 被害の発生状況を詳しく見ると、令和5年度、6年度ともに、風や雪による被害の発生棟数が多くなっています。（図2・3）
 冬から春にかけて発生する風や雪による災害には備えが必要です。

図1 令和6年度園芸施設共済被害発生棟数

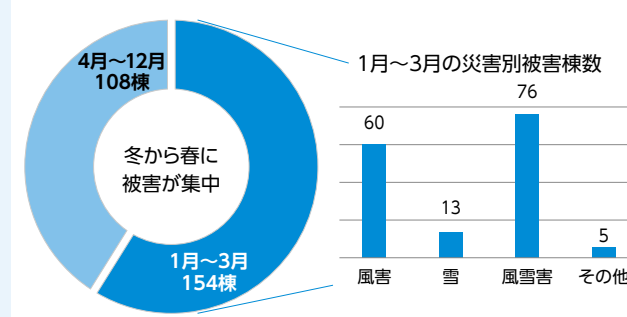


図2 令和5年度園芸施設共済被害発生状況

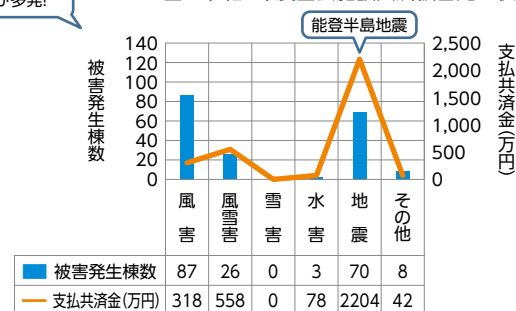
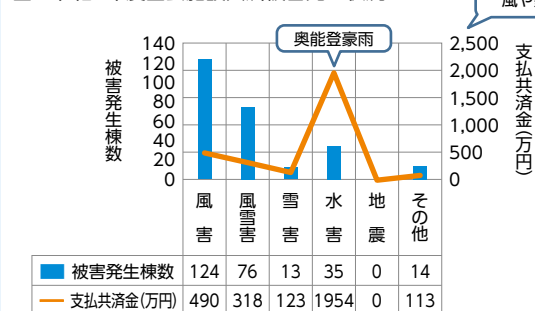


図3 令和6年度園芸施設共済被害発生状況



園芸施設共済の加入相談は随時受け付けています。お気軽にお問合せください。

令和 8 年産水稻共済の 加入申し込みが始まります

営農計画と加入方式を確認し
正しく記載しましょう



令和 7 年の 保険金請求手続きを

売上金額が確定したら
保険金支払見込みを試算しましょう



重要 令和8年度(産)の用紙から、提出先の順番が変わります (金沢市を除く)

1枚目…NOSAI提出用 2枚目…農協提出用 3枚目…行政提出用 4枚目…農家控え用



令和8年度(産) 水稻生産実施計画及び作付面積確認依頼書兼水稻共済加入申込書兼変更届出書

私は、農作物共済の「重要事項説明」を受け、内容を承諾の上、水稻共済加入申込書兼変更届出書に押印又は自署します。

■1部目は4枚すべてに押印又は自署願います。

■私の全ての頁の記載内容について事実と相違ないことを確認し、2部目以降の押印又は自署を省略します。変更がある場合は適宜に届け出ます。

■ボールペンで強く記入願います。

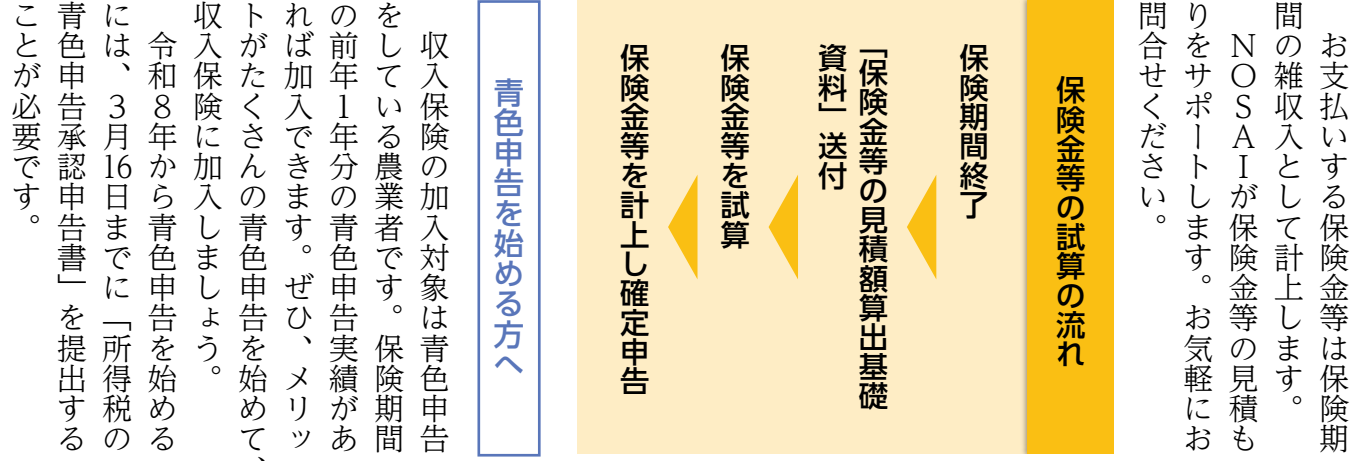
押印またはサインを

ポイント 1 水稻共済加入の趣意

ポイント 2 加入方式の選択

水稻共済加入申込書兼変更届出書 (イメージ図)

農業者記	記載欄	備考
姓	名	
住所		
電話番号		
生産調整方針作成主体コード		
農業者氏名		
台帳等	面積	
水田	面積	
水稲作付(引受)	面積	
水稲以外作付	面積	
稲作作物等名又は水稲品種名		
収量等		
備考		



加入者の声



地震と豪雨の被災乗り越え

イタリア野菜を中心に20棟のハウスと露地で約70種類を栽培し、販売しています。高校卒業後に就農し、24年目になります。現在は、東京都内40店舗以上のレストランに出荷しています。

シエフのニーズに応えたい

「日本では入手しにくいイタリア野菜で、しかも調理すると本場の味が再現できる」と出荷先のシェフが評価してくれるので、やりがいがあります。料理のクオリティを守るため、一年を通して新鮮な野菜を届けたいと思います。2021年から収入保険に加入しています。近年多発する自然災

新たな目標に向かって

今後、新築する農作業場に調理場を設置する予定です。シエフに来てもらい、摘みたての野菜で料理を提供するイベントなどを計画中です。

害や地震の備えとして加入を決めました。NOSAI職員が何度も訪問し、丁寧に説明してくれたので、安心して加入できました。自然災害は予測できず、どうすることもできません。収入保険に加入することで安心して経営できます。能登半島地震と奥能登豪雨により甚大な被害を受けましたが、保険金を受け取り助かりました。

輪島市宅田町
上田 拓郎さん (42歳)
◆経営内容◆
野菜 120a

おねがい

「環境負荷低減の
チェックシート」の
提出にご協力下さい

内容を変更する場合、または新たに加入する場合は、該当する各欄に加入方式、補償割合、一筆半損特約の有無を記入してください。

品質方式の場合は付保割合を記入してください。

ポイント 2 加入方式の選択

水稻共済に加入しない場合は、二重線で消してください。

水稻、麦の耕作面積の合計が10a未満の場合は加入できません。

ポイント 1 加入の意思表示

前年産の水稻共済の加入状況と耕地情報が印字されています。変更がなければ、前年の内容での加入となります。

わがまち* この人

小さな畑から全国へ 知恵と技術が「なりわい」に

能美市 菜園生活 風来 代表 西田 栄喜さん（56歳）



「初期投資は、中古で買った耕運機と草刈機のみ」と話す西田さん



看板商品の「源さんの漬物」

能美市大成町で菜園生活
「風来」を営む西田栄喜さん
は、「日本一小さい専業農家」と
自称する。30㍓の畑で約50
種類の農薬不使用野菜を育て、
「源さん」の愛称で親しまれ

ている。
「心から美味しいと思える
ものを、安心・安全で、毎日
食べられる価格で届けたい」
が信条である。肥料は完熟た
い肥を使用し、「三重県の名

人」のもとで技術を学んだ。
環境にやさしく経費も抑える
「小さな農業」を実践し、土
地に合った作物づくりを探索
している。

人気商品は自家製漬付け物

自家産野菜を使った無添加
のキムチやピクルスも人気商
品である。味の基礎は母親直
伝で、コツを記した「味ノー
ト」は今も宝物。味噌や漬物
づくり教室も評判を呼び、女
性を中心に支持を集める。
強風でハウスが倒壊した際
にはクラウドファンディング
で再建し、人とのつながりの
大切さを実感したという。

「農業の知恵」多角的に発信

著書『小さい農業で稼ぐコ
ツ』（農文協）を出版。近年
は、全国から視察や講習依頼
が相次いでおり、オンライン
教室を開催し、栽培や販売、
SNS 活用の知恵を伝えて
いる。

「培った経験を次世代につ
なげたい」と語る西田さん。
小さな畑から多様な「なりわ
い」を創出している。

イチジク栽培 ハウス栽培で 収量安定を 目指す

宝達志水町
松浦 尚輝さん（70歳）



宝達志水町上田で約40年
にわたりイチジクを栽培する松
浦尚輝さんは、黒イチジク「黒
蜜姫」の栽培に力を入れている。
糖度20度を超える濃厚な
甘み特徴で、約2トンを生
産し首都圏にも出荷されてい
る。

近年は天候変化に対応する
ためハウス栽培へ移行。「毎
年楽しみにしてくれる人のた
めに、安定した収穫を目指し
たい」と意気込む。

なかのと姫ミカン

夫婦仲良く楽しんで栽培

中能登町 岡野 昇さん（75歳）



「味がよいミカンなので収穫するのが楽しい」と話す昇さん（右）と妻の修子さん



甘酸のバランスがよく濃厚な味わいのミカン

中能登町羽坂の岡野昇さん、
修子さん夫婦は、4・3畝の水
稲栽培の傍ら、30本のミカン
を育てている。道の駅「織姫の里
なかのと」を中心に、9年前に
始まった、町産ミカンの特産化
の取り組みに当初から参加して
きた。酸味と甘みのバランスが
良い「宮川早生」を植栽し、現
在は49人の生産者が「なかのと
姫ミカン」として出荷している。
岡野さんの園地では、栽培講

習会のサンプル樹として年3
回の研修が行われ、剪定や防
寒対策などを共有している。
収穫は11月から12月上旬で、
霜が降りる前に終える。
岡野さんは小学生の体験学
習にも協力。「将来、農業に
関心を持つてほしい」と子供
たちとの交流を楽しむ。夫婦
は「これからも元気で、おい
しいミカンを作り続けたい」
と笑顔で語る。

有機野菜・平飼い卵 からだと環境に優しい野菜作り

白山市 石川・松任健康の里



直売所の商品をPRする細川代表（後列右）とスタッフ



情報を共有しながら管理する

白山市徳光町の石川・松任健
康の里は、有機栽培の野菜と自
然卵を生産販売している。
約70㍓の畑で玉ねぎやオクラ、
エダマメなど30品目を栽培。自
家製ぼかし肥料を用い、農薬を
使わず土の力を生かす農法で、
有機JAS 認証も取得してい
る。栽培スタッフ3人が作業や
生育状況を話し合いながら、管
理している。

飼いで育てた鶏の有精卵が人気。
黄身が白っぽいのが特徴である。
直売所は週5日営業し、月1回
の「野菜の日」には対面販売も
行う。市内外から買い物が訪
れ、開店前に行列ができること
もある。
細川洋幹代表（49）は、「自
然環境を守り、健康を第一に考
え、安心安全な農産物の生産と、
自然農法の普及を図りたい」と
話している。



1月から
3月までのうごき

12月27日～1月4日
年末年始休業

1月
理事会

2月
果樹共済
加入申し込み開始
水稻共済
加入申し込み開始

3月
余裕金運用管理委員会
理事会

共済金を支払いました

	支払日	支払戸数	支払共済金
水稻	12月4日	232戸	27,067,740円
麦	12月4日	40戸	7,667,639円



降雨不足による干ばつ被害（撮影8月6日穴水町）

水稻被害概況

干害

7月上旬から8月上旬の少雨による干害、海水の逆流による塩害も発生しました。

獣害

イノシシやサルへの侵入。

風水害

8月上旬の豪雨により、浸水や冠水及び土砂流入。

麦被害概況

土壌湿潤害

播種後の降雨により土壌が湿潤状態となり、発芽不良が発生しました。

採用情報

獣医師募集

〈勤務内容〉

農業保険法に基づく一般業務及び家畜診療に係る業務

〈応募期間〉 随時

新規採用職員・臨時職員の採用情報はホームページで随時更新しています。

募集要項は
こちら



トマト栽培をスタート



小松市
須戸 草至さん（29歳）

アグリスクール小松で学んだ後、昨年4月に就農し、ハウス4棟でトマトを栽培しています。

管理はすべて手作業で、5月から12月まで休みなく収穫しています。手をかけた分だけ収量があがるので、やりがいがあります。

きらきらひかる —えがお輝く石川の星—

法人で白ネギを栽培

株式会社ヤマジマに就職して4年目です。白ネギの栽培を担当しています。病気の予防対策に、草取りをまめにおこないます。手作業も多く大変ですが、お客様からの評判が良く、励みになります。

これからも収量をあげていけるようがんばります。



白山市
木村 勘太さん（25歳）

令和7年度 損害防止事業

機器購入経費の一部助成

農作物共済、果樹共済及び畑作物共済事業の健全な運営を図ることを目的に、損害防止に要する対象機器を購入した経費の一部を助成します。

交付対象機器

令和7年1月1日から同年12月31日までの間に購入した以下の機器

※対象となる機器は本体のみ

①動力噴霧機（器）

1台あたり購入額 20万円以上に限る

②農薬散布ドローン

1台あたり購入額 40万円以上に限る

③水田乗用管理機（ブームスプレーヤ）・産業用無人ヘリコプター

1台あたり購入額 50万円以上に限る

④スピードスプレーヤ（SS）

1台あたり購入額 50万円以上に限る

令和8年
1月20日
締切

詳しい
交付要領は
コチラ



事故発生時の連絡は遅滞なく

共済事故が発生した際は、職員が事故の現地を確認します。連絡が遅れ事故の原因が特定できない場合、共済金をお支払いできないことがあります。

ニーズ調査実施中

共済対象品目のうち、現在石川県で実施されていない品目について、加入希望がありましたら、組合までご連絡ください。

建物共済

集金業務を廃止、掛金納入は口座振替で

コンプライアンスに沿った対策として、令和7年4月より、継続加入時の建物共済掛金等について、組合事務所外でお預かりする集金業務を廃止しました。共済掛金等の納入は口座振替のみの対応となります。

NOSAIでは、法令等遵守態勢の強化による経営の健全化に取り組んでいます。ご理解とご協力をお願いします。

New face
一生懸命頑張ります！



能登グループ（七尾市担当）
嶺南 正一朗

組合ホームページ

組合ホームページで、各事業の内容や情報開示、採用情報のほか、パンフレットや公告もご覧いただけます。電話やメールのお問合せにも対応しています。

NOSAI石川 検索

石川県農業共済組合

■ 本 所 ■

〒920-0007
金沢市田中町か 26 番地 1
TEL 076-239-3111 (代)
FAX 076-203-0031
E メール
kouhou@nosai-ishikawa.or.jp

NOSAI石川
ホームページ

NOSAI石川
Facebook



LINE公式アカウント
はじめました



友達追加は
コチラから

各グループのお問い合わせ先は
こちら

【本所別館】

〒920-0007
金沢市田中町か 12 番地 1

南加賀グループ

TEL 076-239-2355
(加賀市・小松市・能美市・
川北町)

石川中央グループ

TEL 076-239-2555
(白山市・野々市市・金沢市・
かほく市・津幡町・内灘町)

能登グループ

TEL 076-239-2455
(羽咋市・志賀町・宝達志水町・
中能登町)

【奥能登支所】

〒928-0313
鳳珠郡能登町字天坂に 1 番地 1
TEL 0768-76-2251
(七尾市・輪島市・珠洲市・
穴水町・能登町)

NOSAI石川広報紙「虹」
新年号 vol.44
2026年1月発行

Face to Face

柿農家

蔵岡 真吾さん

蔵岡 真吾さん (70歳)



かほく市高松
蔵岡 真吾さん

果樹共済担当
横山 奈津美

果樹共済は、かき・りんご・ぶどう・なし・くりが対象です。職員は加入や被害の内容を確認するため日ごろから農家や園地を訪問しています。

良質な柿を生産したい

60歳で退職し、本格的に紋平柿の栽培に取り組んでいます。作業効率を上げるため樹を低く仕立てたり、柵やトウガラシでイノシシ対策をしたり、自分で工夫して挑戦することが楽しいです。

これまで炭疽病やひょう害もありましたが、共済金の支払いを受けるほどの大きな被害がありませんでした。今年は、夏の猛暑のため日焼け果が発生したので、被害申告をして、調査してもらいました。

紋平柿は、県特産の高級果物として広く知られてきたので、今後も規格に沿ったよい柿を生産していきたいです。

◆紋平柿41a(116本)

2ヵ月間無料!

毎週おとどけ



試し読み
キャンペーン

実施中

農業共済新聞を読めば分かるシリーズ

- 1 農業・営農の今が分かる
- 2 農政の動きが分かる
- 3 農業共済・収入保険の仕組みが分かる
- 4 所得確保や経営改善の手がかりが分かる
- 5 暮らしを豊かにするヒントが分かる

農業共済新聞

人気コーナー

農家や研究者
のコラム
「ズバリ直言」

農業女子が
思いを寄せる
「晴れ間」

役立つ
営農技術情報

充実の地方版



申し込みはNOSAIへ